



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：有賀行秀 幹事：佐藤尚誠 発行：会報・広報委員会

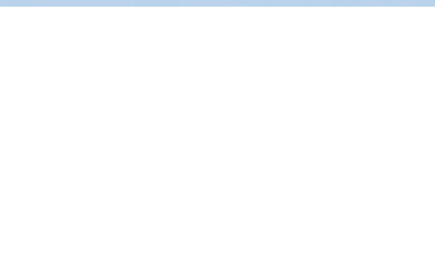
第 3364 例会 (12号) 2024 年 10 月 10 日 (木) 曇り

観月例会

親睦活動委員会(稲葉廣直委員長)担当の観月例会を田町平安で開催しました。有賀行秀会長の挨拶に続き、会員の音頭で乾杯し、参加者にはぎやかに語り合いました。



有賀行秀会長挨拶



佐藤尚誠幹事



中締めの挨拶をする小野寺順正会員



2024~2025年度国際ロータリーのテーマ

「ロータリーのマジック」

THE MAGIC OF ROTARY

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

司会：佐藤尚誠幹事

◆会長挨拶

美味しい料理とお酒を前にしてあまり長く話をすると皆さんからおしかりを受けてしまいますので、本日はほどほどにいたします。

本日は観月例会。今年は十五夜は先月でしたので、今月は十三夜となります。十五夜は中国から来た風習ですが、十三夜は日本で生まれた風習だと言われています。平安時代に醍醐天皇が清涼殿にて月見の宴をしたのが始まりだとされています。

いわきでは十三夜の風習を耳にすることはありません。しかし、月待という風習は盛んでした。その証拠に道端や神社やお堂に「十九夜」「二十三夜」と彫られた石碑をよく見かけます。十九夜は女性、二十三夜は男性が集まって月を拝んで、そこから夜遅くまで飲食をともにしたそうです。十九夜は如意輪観音を本尊として、二十三夜は勢至菩薩を

本尊として行われました。十五夜や十三夜は月をめることが趣旨なので月待とは形態が違ってきます。今年の十三夜は来週の15日の火曜日です。夜、ちょっと空を見上げてみてはいかがでしょうか。月の出は夕方4時ごろ。南中するのは午後9時半過ぎ。月の入りは日が変わって夜中2時半ごろとなるようです。

◆幹事報告

- ・有賀行秀会長、大久保健蔵会員より日本酒の差し入れをいただきました。

◆委員会報告・会員報告

◆出席委員会（代理：小林隆太会員）

例会日	基本会員数	出席者	メンバー数
10月10日	46名	46名	—

10年目迎えた海岸林再生活動

2015年から続く海岸林再生活動が10年目を迎え、10月12日（土）に新舞子浜公園で作業に汗を流しました。

会員と会員企業のトヨタカローラいわき、みずほ銀行いわき支店、関彰商事いわき支店、東邦銀行いわき営業部、常陽銀行平支店の従業員ら総勢50名以上が参加。有賀行秀会長、松崎浩社会奉仕委員長が協力を呼びかけた後、クロマツの枝打ちや植栽、草刈りなどに取り組みました。



★本日の例会案内 10月17日（木）12：30～
外部卓話 Moegi 代表取締役社長 片寄里奈様
お食事メニュー＝ローストビーフ
★次回の例会案内 10月24日（木）12：30～
いわき分区分会ガバナー補佐来訪
お食事メニュー＝サーモン秋の実の味噌焼き
いくらの黄身和え
31日は休会